ゾルベツキシマブ+FOLFOX6療法

（作成者：クリニカルパス専門部会）

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院：1病日 ／ 治療前日	2病日 ／ 治療当日	3病日 ／ 治療後1日目	4病日 ／ 治療後2日目	5病日：退院 ／ 治療後3日目	【退院後の生活について】
達成評価	・治療について理解できる			・退院指導の内容を理解できる		・定期的な通院を継続してください ・処方されている薬は医師の指示通りに内服してください ・内服薬は自己判断せずに、指示された通りに内服してください
	・38.0度以上の発熱がない					
		・嘔気・嘔吐のコントロールができる ・有害事象（発熱、嘔気・嘔吐、下痢、手足のしびれなど）の症状出現時は医療者に伝えることができる ・経口摂取ができる				
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します 					以下の症状がある時はご連絡ください ・38.0度以上の発熱 ・風邪などの感染症症状 ・手足のしびれ ・その他、いつもと様子が違うなど、気になる症状
注射		・抗がん薬の点滴をします 				
検査	・採血 ・身長・体重測定  			・採血 	・体重測定 	【緊急連絡先】 ・診療日時間内（8：30～17：00） 消化器内科外来 ：0985-85-9883 ・休診日・診療日時間外 3階西病棟 ：0985-85-1745
処置		・心電図モニターをつけます。その後、医師の指示で外します				
食事	・制限はありません	・朝食は軟飯ハーフ食になります ・昼食は欠食です。夕食から常食になります	・制限はありません 			
活動・安静	・制限はありません	・制限はありませんが、抗がん薬の点滴中は病棟内でお過ごしください	・制限はありません			
清潔	・シャワー浴ができます 	・シャワー浴はできません。必要時、身体を拭きます	・シャワー浴ができます			
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が治療の説明をします ・薬剤師が、資料を用いて治療（薬剤）の説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・感染予防、転倒転落予防について説明します			・退院後の生活について説明します	・薬剤師が、退院後の薬剤について説明します	
その他	・同意書は職員にお渡しください	・痛みや吐き気があればお薬を使用しますので、我慢せずにお知らせください				
		・抗がん薬投与終了から2日間は、尿や便に抗がん薬が含まれます。排泄時、尿・便の飛散により、他の方々のお身体にも影響を及ぼす可能性があるため、男性は座って排尿してください。排泄後は、水を2回流してください			・病棟スタッフが、退院処方の必要性や処方の確認を行います	
		・点滴の薬剤が血管の外に漏れると、その部位の皮膚に炎症が起こることがあります。点滴が入っているところに痛みや発赤、腫れがある場合は、ナースコールでお知らせください				

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。

宮崎大学医学部附属病院
2026年8月承認
2026年10月更新